

2016年3月吉日

関係各位

深圳市駐日経済貿易代表事務所  
首席代表 于 智榮

## 「創新都市——深圳市ロボット産業投資説明会」 開催のご案内

仲春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

中国の改革開放のさきがけ・深圳市では、このたび日本との経済交流を一層強化するため、「深圳市ロボット産業投資説明会」を開催いたします。

昨年、深圳市のGDPは1.75兆人民元に達し、上海、北京、広州に次いで中国第四位にランクインしました。対外輸出額は、23年連続で中国のトップの座を占めており、深圳港のコンテナ取扱量は2,421万TEUで、世界第3位となりました。ハイテク製品の生産総額は1.73兆人民元に上り、この内、深圳市企業が知的財産権を有するハイテク製品は6割以上、R&Dへの投入額は市のGDPの4.05%を占め、また、市全体のPCT国際特許出願数は1.33万件で全国の出願総数の46.9%、12年連続で全国大中都市のトップとなっております。

深圳市は希望を生み出す魅力的な都市であります。グローバル企業に成長した華為技術(HUAWEI)、中興通迅(ZTE)、騰訊(テンセント)等通信、情報産業やEVでは中国第一の比亞迪(BYD)のような著名企業が次々誕生しています。2006年に設立された大疆科技(DJI)は、ドローンで既に全世界7割のシェアを獲得しています。

2014年末、深圳市は「ロボット・ウェアラブルデバイス及びインテリジェント機器産業発展計画(2014~2020年)」を打ち出しました。期間中、毎年5億人民元を投じ、ロボット関連産業の発展を支援することとしています。2020年には深圳市のロボット産業の付加価値額が2,000億人民元を超え、国内最先端のロボット産業製造拠点、イノベーション拠点、サービス拠点、国際協力拠点を目指しております。

現在、深圳市にはロボット関連分野の国・省クラス重点実験室が30ヶ所、工程実験室16ヶ所、工程技術研究センター12ヶ所、公共サービスプラットフォームは7つを数えます。

本説明会では、深圳市政府関係者より、深圳市のロボット産業の最新の発展状況及び産業政策をご紹介し、日本企業の皆様方と深圳企業との今後の技術交流、プロジェクト提携を通じたビジネス・アライアンスの契機としたいと考えております。

ご多忙中とは存じますが、ぜひご臨席を賜りたくご案内申し上げます。

